

辯護側書證第一四〇一頁一號

東郷發野村宛一九四一年十月二十一日第六九八號

貴電第九六六號ニ據シ

御來示ノ次第ニ圖スル詳細ナル訓令ハ組閣早々ノコトテモアリ追テ電報  
スヘキモ新内閣ニ於テモ公正ナル基礎ノ下ニ於ケル日米國交調整ニ對ス  
ル熱意ハ前内閣ト異ナル所ナシ而シテ我方見解乃至主張ハ既ニ殆ンド全  
部之ヲ明カニシアルヲ以テ寧ロ我方ハ毅然タル態度ヲ以テ米側ノ反省ヲ  
俟ツ態勢ニ在リ乃而貴大使ハ適宜貴大使自身又ハ若杉ヲシテハ本交渉ニ  
之レ以上長時日ヲ費スヲ許ササル事情ニアルコトヲソレトナク仄メカシ  
九月二十五日我方案ニ對スル米側ノ對策ヲ至急求メラルルコトニ重點ヲ  
置テ話ヲ續行セラレタシ。